

# 資質・能力の三つの柱に沿った、 小・中・高を通じて各教科等において育成すべき資質・能力の整理

	<b>個別の知識や技能</b> (何を知っているか、 何ができるか)	<b>思考力・判断力・表現力等</b> <small>教科等の本質に根ざした見方や考え方等</small> (知っていること・ できることをどう使うか)	<b>学びに向かう力、人間性等</b> <small>情意、態度等に関わるもの</small> (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)	<b>資質・能力の育成のために                  重視すべき学習過程の例</b>
数学 高等学校	<数理探究(仮称)> ● 知識・技能の深化・統合 ● 課題研究を遂行するための知識技能	● 高度な課題解決能力(観察・実験デザイン力、構想力、実証的・論理的・分析的・統合的に考察する力、発表・表現力) ● 新たな発見をしたり、創造をしたりする力	● 事象や科学的課題に徹底的に向き合い、考え抜いて行動する態度 ● 自発的、創造的に取り組む態度 ● 研究に対する倫理的な態度	● 事象の把握 ● 課題の設定 ● 仮説の設定/解決の計画 ● 情報収集/知識・技能の習得 ● 解決/検討・考察 ● 表現・伝達
	● 数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解 ● 事象を数学化したり、数学的に解釈・表現したりすること	● 事象を数学的に考察・表現し、問題を解決したり、問題解決の過程を振り返ってその本質や他の事象との関係を認識する力	● 数学のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に数学を積極的に活用して、数学的論拠に基づいて判断する態度 ● 問題の解決などにおいて、粘り強く、柔軟に考え抜こうとする態度	● 疑問や問いの発生 ● 定式化による問題設定 ● 問題の理解 ● 解決の計画, 実行, 検討 ● 新たな疑問や問い, 推測などの発生
数学 中学校	● 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解 ● 問題解決過程において活用できる数量や図形などに関する知識 ● 問題解決過程において数学的に処理するために必要な技能	● 既習の内容を基にして、数や図形の性質などを見だし、発展させる力 ● 実社会や実生活における事象など数学外の世界と数学を結び付け、数学を生かして考察する力	● 数学のよさを実感し、様々な事象の考察や問題解決に数学を活用する態度 ● 数学的論拠に基づき考察を深めたり意思決定を行ったりする態度 ● 問題の解決などにおいて、粘り強く考え抜こうとする態度	● 疑問や問いの発生 ● 定式化による問題設定 ● 問題の理解 ● 解決の計画, 実行, 検討 ● 新たな疑問や問い, 推測などの発生
算数 小学校	● 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などの理解 ● 数理的に処理するために必要な技能	● 基礎的・基本的な数や図形の性質や計算の仕方などを見だし、そのことを基に発展的に考えたり、既習の数学と結びつけ、統合的に考えたりする力 ● 日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現し、そのことを基に問題解決したり判断したりする力	● 数理的な処理のよさに気付き、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとする態度 ● 答えを出した筋道が正しいかを確認したり、出した答えを自分で確かめたりするなど自立的に学習を進めたり、数学的に表現・処理したことについて批判的に検討しようとする態度 ● 抽象的に表現されたことを具体的に表現しようとする、具体的に表現されたことをより一般的に表現しようとするなど、多面的に考えようとする態度	● 日常の事象の定式化による問題設定 ● 解決の見通し, ねらいの明確化 ● 解決の実行 ● 解決したことの協働的検討 ● 解決過程や結果の振り返り(概念の深まり, 発展・統合)